

会議名称

第 3 回湖北圏域病院運営検討協議会

日時

令和 6 年 12 月 26 日（木）18 時 00 分～20 時 00 分

出席者

高折委員、納谷委員、楠井委員、松岡委員、森上委員、荻田委員、塩見委員、嶋村委員
伊佐顧問（web）、高折顧問（web）

【議事概要】

■ 報告事項

- 事務局（長浜市）より「市立 2 病院の経営状況を踏まえた今後の対応方針」について報告が行われた。

■ 診療体制検討部会からの報告

- 病院ビジョンへ反映する、「機能再編後の各病院で想定される機能・役割の概観」、「機能再編後の各病院で想定される診療科の主な疾患・手技の概観」、「機能再編後の各病院で想定される 5 疾病 6 事業等との関わり」、「施設基準・施設認定」について報告が行われ、委員より承認が得られた。
- AB 病院の再編後収支シミュレーション結果について報告した。市立 2 病院の経営環境の変化を踏まえ、病院再編については、市立病院の規模や在り方も含めた再検討が必要となったため、関連する検討状況を踏まえて、収支シミュレーションも対応する必要があることが確認された。引き続き検討を進めていくことで、委員より承認が得られた。
- 施設設備に係る整備について報告した。第 5 回診療体制検討部会までの議論による施設設備に係る整備方針案において整備を進めることは、長浜市の財政制約から難しいことが共有された。
- 目指すべき姿を念頭に、目指すべき姿に向かう当面の措置として、施設設備の整備に係る追加案を検討することとした。追加案は下記の視点を持って検討を進めることで、委員より承認が得られた。
 - ・ 市立長浜病院と長浜赤十字病院の既存施設を有効活用する。
 - ・ 高度急性期機能を一部集約するとともに、運用面で各病院が協調・工夫する。
 - ・ 上記の視点によって、施設設備に係る整備費を最低限に抑え、可能な限り集約効果を最大化する。

■ 経営面にかかる検討部会からの報告

- 第 1 回経営面にかかる検討部会において、地域医療構想を踏まえた病院ビジョンを実現する観点から、指定管理者の選定手法について課題整理を行ったほうがよいとの意見が出た。そこで、病院経営の一体化を通じて、医療機能の再編が達成されるような指定管理者選定手法が必要であることが確認された。他自治体での指定管理者選定の事例を参考にして、指定管理者の選定手法に係る課題を確認、検討したことについて報告が行われ、委員より承認が得られた。
- 病院再編を進めるための人材交流手法に関する検討について報告が行われ、委員より承認が得られた。
- 長浜市病院事業と長浜赤十字病院の人事制度比較を実施し、今後調整の可能性がある事項を検討したことについて報告が行われ、委員より承認が得られた。
- 現給保障に係る他自治体の事例を確認し、現給保障の範囲や期間について検討したことについて報告が行われ、委員より承認が得られた。

■ 病院ビジョン案について

- 第 2 回湖北圏域病院運営検討協議会での協議結果を踏まえて策定された「病院ビジョン骨子」に基づき、病院ビジョンには最終的にめざすべき姿を記載する想定であることを踏まえて、現時点の病院ビジョンの章立て案について報告が行われ、委員より承認が得られた。
- また、各種検討にあたり、「救命救急センターと災害拠点病院の機能及び高度急性期の機能は一体運営されるべきとの認識」や、「長浜市立 2 病院の経営状況に係る市の検討状況や市財政制約も十分に考慮する必要があること」も踏まえて作業を進めるように、委員から事務局に対して指示があった。

以上